

第2学年3組 学級活動(3) 学習指導案

中学校・特別活動

実施期間 令和 年〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「2年間の体育大会を振り返り、来年度に向けてこれからの1年間を設計しよう」

(イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成)

子どもの姿	題材終了後の	<p>2年間の体育大会の振り返りのプリントを確認しながら、自分や仲間の成長を感じ、自己有用感を高めている。</p> <p>3年次の体育大会に向けて、1年間で成長したい項目を整理し、今後の行動につなげようとしている。</p>	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	<p>学校生活の中で自分の役割を果たすために必要な「社会人基礎力」を理解することができる。</p> <p>自分らしい生き方の実現を図るために必要な長期的な行動の仕方を身に付けている。</p>	<p>自分らしい生き方の実現に向け、現段階での自己の課題を把握することができる。</p> <p>次年度の体育大会に向け、友達の意見も参考にしながら考え、意思決定して実践している。</p>	<p>今後1年間の自分の行動を見通したり、これまでの成長を振り返ったりしている。</p> <p>次年度の体育大会で自己実現を図るため、友達の意見を取り入れながらよりよいめあてを立て、実践しようとしている。</p>
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 3年生の姿を画像で振り返ることで、自分たちの課題を明らかにし、次年度の体育大会に向けて、どのような場面で活躍したいかを具体的にイメージする。それをもとに今後1年間の活動目標を考える。</p> <p>【振り返り】 「キャリア・パスポート」に保存している1年次の体育大会の振り返りと、今回の振り返りを確認し、次年度活躍するために必要な実践活動につなげることができるようにする。</p> <p>【対話】 班や学級内で自分の行動目標を発表する。行動目標を具体的に発言内容に整理することで、自分自身の気持ちをさらに高められるようにする。それを聞きながら、自分自身の行動目標を見つめ直したり、新たに内容を追加したりする参考とする。</p>		
子どもの実態 30人	<p>目標を設定し、それに向けて自分を見つめ改善していく態度は少しずつ育まれている。</p> <p>長期的な視野でPDCAサイクルを意識して行動できる生徒は少ない。</p>	<p>生活ノートの記述を見ると、自分らしい生き方の実現に向け、成長したいと考えている生徒は多い。</p> <p>意思決定の際に、自分の考えだけでめあてを立てることが多い。</p>	<p>実際に集団内で、周囲を巻き込むように、主体的に行動したり発言したりする生徒は少ない。</p> <p>自己の課題を客観的に見つめ、改善しようとする事ができる生徒も少ない。</p>

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自己の目標を実現するために必要な知識を理解している。</p> <p>自己の目標を実現するための長期的な行動の仕方を身に付けている。</p>	<p>自己の課題やよさについて、これまでの振り返り用紙などを用いて見つめ直している。</p> <p>自己の課題を、行事と関連させて具体的・客観的に整理し、友達の意見を参考にしながら意思決定し、実践している。</p>	<p>自己の課題に応じ、これからの活動目標をより具体的に設定している。</p> <p>友達の発言を自分のこととして考え、目標をよりよいものに改善し実践しようとしている。</p>

指導と評価の計画（3時間取り扱い 本時3/3）				
課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
課題を設定し、実践しよう。	事前	4月 日 学級活動	○体育大会に向けて話し合う。	【知】 テキスト 【主】 テキスト
		5月 日～ 日 体育等	○体育大会に向けて取り組む。	【思】 観察、生活ノート
		5月 日 学級活動	○体育大会の振り返りをする。	【思】 ワークシート 【思】 ワークシート
	本時	6月 日 学級活動	次年度の体育大会に向けて1年間の設計をする。	【思】 ワークシート 【主】 ワークシート、発表、観察
	事後	6月～3月 随時	○決定した目標に向けて実践を続ける。	【知】 観察、生活ノート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

2年間の体育大会を振り返り、来年度に向けて課題を整理し、今後の目標を設定することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	教師の支援 評価	備考 ・ICT 機器等
つかむ	7	1 振り返りをする。 (1) 2年間の体育大会の振り返りをする。 (2) 成長を実感する。	○この2年間でどのような成長がありましたか。 ・リーダーとして引っ張ることができた。 ・考えて行動できた。	○ワークシートの記述を紹介。 自分の成長・よさを見つめられるように声をかける。	・タブレット ・電子黒板
さぐる	14	2 課題把握をする。 (1) 3年生の頑張りを共有する。 (2) 自分たちの課題を把握する。	○3年生のどのような姿が格好良かったですか。 ・先頭に立って引っ張るところ。 ○自分たちの課題はどこでしょうか。 ・計画的ではないところ。	○3年生の頑張る姿を写真で紹介。 【思】 先輩の頑張りをもとに、自己の課題を見つめることができている。	・電子黒板
次年度の体育大会における活躍場面のイメージをもち、そのための1年間を設計しよう。					
見つける	10	3 具体的な姿を想定する。 3年生の体育大会のどのような場面で活躍し、そこでどのような力を付けたいかを考える。	○どんな活躍をして、どんな力をつけたいですか。 ・学級対抗競技のリーダーを通して積極性。 ・放送委員の真剣な雰囲気の実況を通して判断力。	○活躍場面に加え、身に付けたい力も明確にする。	・ワークシート
決める	19	4 活動目標を設定する。 (1) 目標達成のために具体的にどのような活動をしていくかを考える。 (2) 班・学級で発表する。	○これからの1年間をどう過ごしますか。 ・1分前着席の呼びかけ。 ・登校してすぐに提出物が出せるように準備する。 ○これから1年、自分の立てためあてに向けて実践を積み重ねましょう。	【主】 活動目標を達成するために、よりよいものに改善している。	・ワークシート

特別活動

第4学年〇組 学級活動(3) 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月～令和〇年〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「どうして勉強するのか～将来の夢と勉強はどうつながっているのだろう～」
(ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用)

題材の目標及び手立て

学級活動(3)においては、指導及び実践が、現在及び将来の生き方を考える基盤であることに留意しながら述べる。

い自分への自己実現を目指している。

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	①働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもつことができる。	①自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしながら実践することができる。	①現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かしながら、主体的に行動しようとしている。
目標に向かうための手立て	<p>〇「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 一人一人さまざまな将来の夢があることを知ることで、それぞれの夢のよさがあることや、一人一人のよさが生かされていることに気付くことにより、自己肯定感を高めた上で学習課題に取り組めるようにする。</p> <p>【振り返り】 これまでの自分の学び方や学ぶ態度を振り返り、4月に作成していた「キャリア・パスポート」(タブレットのメタモジにデータ保存)に新たな行動目標を追記することで、これまでの自分からこれからの自分へと先に進む方法として、自己実現に向かう態度の育成を目指す。</p> <p>【対話】 将来の夢と勉強とのつながりを考えイメージマップに記入し、グループで共有して互いにアドバイスし合い、自分の考えを広げ深めていくことができるようにする。</p>		

子どもの実態	30人
①全員が、将来の夢として具体的な職業を挙げている。8割程の児童が、勉強することは将来のため、夢をかなえるためだと思っているが、何がどのように関連しているのかと、具体的に捉えている児童はほとんどいない。	①「キャリア・パスポート」に、この1年間でつけた力として、教科(授業)の目標を立てているが、どのように行動するかと、具体的な行動目標を立てている児童は少なく、3割程だった。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①将来の夢をかなえることと、現在の学習(様々な教科)との関わりについて理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	①自己のよさを生かし、将来とのつながりを意識して、学び方や行動について、これからどうしていきたいか、意思決定している。	①夢をかなえるために意思決定しためあてに取り組む中で、これからの自分を意識し、継続して取り組もうとしている。

ポイント

ポイント

学習過程
つかむ→さぐる→見つける→決める

課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
て取り組もう。 て、今できるめあてを決めて	事前	4月〇日 学級活動	〇4年生「キャリア・パスポート」を作成する。	【思】①観察、「キャリア・パスポート」
	本時	6月〇日 学級活動	●夢の実現へ向けた、日常での学習のめあてを決める。	【知】①観察、ワークシート 【思】①ワークシート
	事後	7月、12月、3月 随時	〇めあてを継続的に実践し、学期ごとに振り返りを行う。	【主】①観察、「キャリア・パスポート」

ポイント

2 本時の授業計画

- (1) 本時現在の仕方
- (2) 展開

指導と評価の計画
本時の学習と自己実践のつながり、指導者の評価による更なる実践へ向かう意欲の向上等を考慮して計画を立てる。

過程	時間	学習活動	評価	評価方法	
つかむ	5	1 自分の将来の夢について想起する。	〇みんなは、どんな夢を持っているのかな。 ～(職業)になりたい。 ・みんないろいろな夢があるな。	〇評語 〇なりた職業、理想の大人像、どの児童の夢も肯定的に受け止める。	・一人一人の夢を提示する画像 ・電子黒板
さぐる	20	2 夢をかなえるためには、どうして勉強することが大切かを考える。 (1) 例に挙げた夢の実現には、どのような教科が関連しているのかを全体で考える。 (2) 自分の夢の実現と教科との関連を考える。 (3) 班で伝え合う。	〇夢をかなえるためには、勉強している教科の、どのようなことが必要かな。 ・世界の選手と話すためには英語も必要だね。 ・たくさん人と話すことも大切だから国語かな	〇水泳選手を例に挙げ、様々な教科での学習内容が関連していることが理解できるようにする。	・イメージマップ
見つける	10	3 これまでの自分の学び方を振り返って気付いたことを発表し合う。	〇今の自分をみつめて、これからどうしたらいいか考えよう。 ・得意でない勉強もがんばっていきこう。	◎【知】将来の夢の実現と学習との関わりを理解している。	
決める	10	4 なりたい自分に向けて、これからどのようにがんばりたいか、めあてを意思決定する。 5 友達と、互いがんばりたいことを伝え合う。	〇学習(教科)の何を、どのように学習していくのか、めあてを決めて「キャリア・パスポート」に書き加えよう。 ・人に役立つロボットを作りたいから、算数の問題を自分で解決できるようにしたい。	◎【思】話し合ったことを生かして、具体的な学習のめあてを書いている。	・タブレット(「キャリア・パスポート」、メタモジ)

本時の評価
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

ポイント